

自ら学ぶ子供の育成

【小中英語パートナーシップ事業授業研究会(館岩小・館岩中)】



＜館岩小 What would you like?＞
「館岩オリジナルグローバルレストラン」で、ていねいな表現を使った注文のやりとりを学習しました。

＜館岩中 道案内＞
学習旅行との関連を図り、ALTが訪れてみたい場所を地図上で案内する活動を行いました。

【小中英語パートナーシップ事業 外部試験の導入】

児童・生徒の英語力の定着を促すため、小学校では「Speaking Quest」、中学校では「GTEC Core」を実施しました。3年間の継続実施となります。2年次もネクスト研修を開催し、小中連携の取組を広めていく予定です。



【算数・数学科授業づくり支援研修会(江川小)】

12月16日義務教育課の加藤政記指導主事を招き、よい授業のイメージをもつための研修会を行いました。参加者はそのイメージをもとに、授業改善について理解を深めることができました。

今後も町村教育委員会や学校の要望に応じた支援を行っていきます。

【教育課程研究協議会】

教育課程研究協議会では、チェックシートをもとに自校の教育課程の課題をとらえる時間を確保しました。オンラインでしたが、他校との情報交換は参考になったとの意見をいただきました。

南会津夢教育2021

南会津教育事務所域内の重点事項全体構想

南会津の風土を踏まえ

一人一人が夢をかなえられる教育を目指して



今年度の取組を紹介します

家庭教育支援の推進



家庭.pdf



【家庭教育支援者研修会】

地域学校協働の推進



地域.pdf



【地域学校協働研修会】

子供たちの豊かな心の育成



読書.pdf



【読書活動支援者育成研修会】

本年度社会教育課では、『学校・家庭・地域が一体となって取り組む「人づくり」と「地域づくり」』を目標に事業を展開しました。各種研修会では、ものづくりや意見交換の場を設定し、「体験型・参加型」の研修とすることで、参加者の積極的でいきいきとした姿を見ることができました。一方で、研修会の「ハードルが高い」という声を耳にします。気軽に参加できることのPR、ニーズを把握することの重要性を痛感しています。次年度の研修会に向けて、講座内容の精選、広報活動、ニーズの把握について研鑽を重ね、事業の充実を図っていきます。

こころ豊かな子供の育成



【不登校・いじめ対策推進事業域別シンポジウム】

「中学校になると不登校生徒数が増えるのはどうしてか、対応策は何か」について協議しました。コロナ禍ではありましたが、感染防止対策をしながら対面で行い、有意義な研修となりました。今後も不登校・いじめ0を目指していきましょう。

【SSR(スペシャルサポートルーム)の取組】

域内の担当校では、個に応じた支援として「自分で時間割を決める」、「タブレット端末の活用」などを行っています。『自分の居場所ができること』で登校率の向上が見られました。各校の実態に応じて、取組の参考としてください。

【道徳教育地区別推進協議会(下郷中)】

域内の課題として「学校の教育活動全体を通して行う道徳教育」が挙げられます。本協議会では、推進校である下郷中学校の公開授業や伝達講習、班別協議を通して、道徳教育を柱としたカリキュラム・マネジメントについて理解を深めました。また、道徳教育の要となる道徳科の授業の充実が大切であることを再確認する機会となりました。

からだを大切にする子供の育成

【生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業(檜枝岐小中)】



本事業は「望ましい生活習慣の形成を目指す歯・口の健康づくりと歯・口の外傷の予防」をテーマに、学校の実態や子供の発達段階等に応じて2年間にわたって推進されるものです。指定校の檜枝岐小中学校では、テーマ「少人数・小中一貫教育を生かしたむし歯・歯肉炎の予防と改善」を掲げ、1年次は地域の歯科衛生士と連携した学年ごとの歯科指導や保健だより、保健室前の掲示物を活用した児童生徒・保護者への情報発信を行ってきました。2年次は本事業に関する研究発表会を開催し、小中学校の取組を域内へ広める予定です。ぜひ自校の取組の参考としてください。

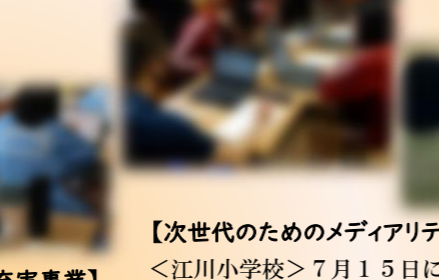
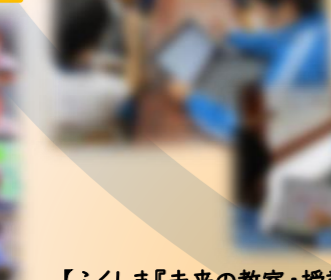
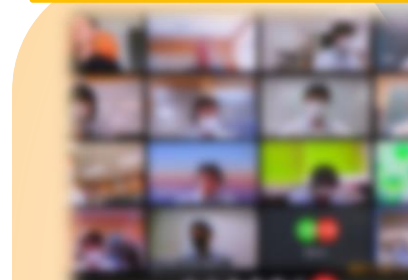
【自分手帳の活用事例(田島小)】

第4学年級活動「健康によいおやつを選ぼう」では、おやつとり方を見直し、これからのめあてを自分手帳に記入しました。家庭に持ち帰ってコメントの記入をお願いするなど、家庭との連携も図っています。児童生徒一人一人の自己マネジメント力の向上のために、自分手帳の積極的な活用をお願いします。



自分手帳.pdf

教育効果を高めるために



【ふくしま『未来の教室』授業充実事業】

第1回地区別研究協議会を8月31日に行いました。東北学院大学の稲垣忠教授、京都教育大学附属桃山小学校の樋口万太郎先生に講演をいただきました。「授業DX」や、「タブレットの効果的な活用事例」について理解を深めることができました。



未来.pdf

【ふくしま『未来の教室』授業充実事業】

＜荒海小学校＞11月8日に算数科の授業公開を行いました。タブレット端末を活用して、自分の考えと友達のことを交流し合う姿が見られました。
＜只見中学校＞12月15日に総合的な学習の時間の授業公開を行いました。金山中学校とオンラインでつなぎ、「只見川の環境と観光について」意見交換をすることができました。

コロナ禍にあっても、子供の学びの充実のためPCの活用とそれに伴う情報モラルを両輪として、指導の充実をお願いします。

【次世代のためのメディアリテラシー育成事業】

＜江川小学校＞7月15日に学級活動で「SNSのルールとマナー」について考え、11月26日には総合的な学習の時間で「情報発信について考えよう」の授業を行いました。
＜田島中学校＞9月15日に学級活動で「SNSを介したコミュニケーションにおけるリスク予想」について、11月22日に道徳科で「情報モラル教育」について考えました。
両校とも医療創生大学の中尾剛教授にお越しいただき、「メディアとの付き合い方」について、各校の課題に応じた貴重なアドバイスをいただきました。



メディア.pdf

特別支援教育の充実

～対処的支援から体制支援へ～

自校の子供の困り感に応じた取組を学校全体として組織的に行う事例が多くなっています。一人一人の特性に応じた組織的な取組を今後もよろしくをお願いします。

【課題の背景要因に迫るケース会議】

＜朝日小学校＞定期的にケース会議が開かれ、今までの支援の評価、改善を話し合う取組がされています。保護者も一緒に参加し、子供の困り感について話し合うことで、同じ目標を共有し、連携を深めていました。
＜南会津高等学校＞ケース会議に参加する先生が一人一台タブレット端末を活用し、それぞれが共有ソフトアプリに入力し話し合いを効果的、効率的に行う工夫がされていました。事後の記録としても活用しやすく、新しい取組となりました。



朝日小学校



南会津高等学校

【通級指導教室と通常学級の連携】

＜明和小学校＞日頃から担任と担当者間で情報交換を行い、通級指導教室で何を学ぶべきか、指導が学級での生活に生かされているかを話し合っています。指導によって子供の学級での変容が見られ、退級できる児童も増えてきました。